

令和2年度 第2回学校運営協議会

令和2年11月18日

於 会議室

司会：教頭 書記：山口

1. 校長挨拶

2. 会長挨拶

3. 協議項目（司会：会長）

1) 授業見学について

見学の感想

委員①：子どもの様子を見ているとコロナ感染症を忘れさせるほど楽しそうで和気あいあいとされていた。感染者が増えてきているため学校での対策が気になる。保護者として手伝えることがあれば教えてほしい。

学校：対策について、手洗い、換気の徹底を呼び掛けている。換気に関しては、教室内の2か所（廊下側、窓側）を開けている。また、今後寒さ対策も必要となるため、各個人の対策として膝掛けやセーターの着用、学校の対策として教室内の設定温度を柔軟に対応する。

委員②：生徒と近い関係にあり楽しく見せていただいた。パワーポイントの使用頻度教えてほしい。

学校：現在8台の移動式プロジェクターが使用されているが、ほぼフル稼働状況で使用したくとも予約で埋まっていることも恒常的。今年度固定プロジェクター6台を新たに設置。

教員：政治経済・日本史の授業で動画をみせるため使用している。2週間前に予約しているが、予約がとれないときもある。

委員③：生徒数は毎年変わらないが、コロナの状況もあり、教室内の人数が多いと感じる。

授業では興味を示すような授業をされていた。体育ではグラウンドから大きな声で挨拶をしてくれる生徒もおり、こちらが元気をもらえた。

会長：体育などの実技教科や、アクティブラーニングが難しい状況であるがどのように対応しているのか。

学校：英語など発音も大切な教科であっても、1学期は控えてもらっていた。現在はペアワークまでは行える状況になっているが、向かい合わせのような場合、近づきすぎないように注意し取り組んでいる。また、柔道などでは大阪府に確認し、場面によってはマスクを着用したり、15秒間で離れるなどの工夫をしたりして、息があがる状況で顔が向き合わないよう取り組んでいる。

2) 学校経営計画進捗状況について

1 : 「確かな学力の実現」について

- ・アクティブ専門コースの充実 来年度希望者数 89 (前年度 77)
- ・コロナ禍のため図書館の開館は 6 月からになったが、利用実績は昨年度を上回っている。

2 : 「豊かな社会性及びたくましく生きる力」について

- ・今年度は例年の体育祭を変更し、学年別を実施した。
- ・生徒会が中心となり大阪府の「コロナ助け合い基金」の募金活動に取り組んだ。
- ・教員は登下校時の指導当番を決め、指導を行っている。
- ・地域の道路利用の状況を鑑み、分散登校の取り組みを行った結果、遅刻者は減少傾向。

3 : 「生徒の力をしっかり伸ばす学校力向上」について

- ・防災訓練・・・新たにネット (G-Suite Classroom) を活用し安否確認を行った。
- ・広報活動・・・コロナ禍の影響もありオープンスクールへの参加者数は昨年度より減少。
- ・GIGA-School の前倒し実施、コロナ禍のオンライン授業の取り組みなど G-Suite Classroom を利用し、学習教材を Web により送信し授業の補充を行った。また、遠隔地と Web 会議システムを利用しての授業を実施した。

質疑応答

会長 : 新入生学生オリエンテーションの内容はどのようなものか

学校 : 今年度は 6 月の学校再開後、講師を招き講演をお願いした。内容は中学校と高校の勉強の違いや、ノートのとり方等について。講演後には決意文を書かせ、9 月に決意文の振り返り指導を行った。(例年は 4 月に実施するが今年度はコロナ禍の影響により 6 月に実施。)

委員② : Web を利用した G-Suite Classroom は、全府立学校で利用するものなのか

学校 : 本校においても以前より検討していたが、コロナ禍の動きの中で府教委の提案により G-Suite Classroom を導入。

会長 : 学校版 BCP について、現在のコロナ禍の状況等、緊急事態において公立学校の場合は教育庁の指示がなければ動けない状況だと思われるが。

学校 : 緊急事態に関しては防災計画の中で BCP を作成している。しかしながら実際に検証するのは難しい。また行政は危機管理対応が進んでいるが、学校現場は疎かになっているとみられてもやむを得ない。

委員③ : 休校が長かったが授業時数は大丈夫か。

学校 : 土曜授業などで対応は出来ている。ただし、これ以上休校になると調整が厳しい状況である。

- ・学校経営計画について承認をいただく。

3) 第1回授業アンケートの結果と、結果に対する各教科の意見

委員②：言語活動にICTを活用とはどのようなことか。

学校：英語・国語等における抽象的表現を、視覚的にイメージがつきやすいようにしている。

会長：アンケートで生徒が手書きした内容は各教員にフィードバックされているか。

学校：教員にフィードバックされている。

会長：各アンケートの数値についてはもっと分析しないといけないのではないか、今年度の特異な状況下で昨年度との比較はあまり意味がない。

4) 来年度使用予定教科書について

(選定理由を各教科から提出)

会長：現在の教科書にはQRコード等を読み取り、デジタル教材などで補完することができるようになっているが、デジタル教科書の活用はないか。

学校：来年度の本校におけるデジタル教科書の希望はなかった。

・使用予定教科書について承認をいただく。

4. 校長謝辞